「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		広聴活動費 [専門相談事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	2			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	秘書広報課			課 市民相談担当			係	課長名	五十嵐 孝雄		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 3			
【施策名】 市民自治の向上							総合計画書 (ページ)	127			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市民			市内総人口(平成31年4月1日現在)							
	→										
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	悩み事がある場合に希望すれば、無償で専門的な知識を有する専門家の指導や助言が受けられる。			相談受付件数/相談応募者数							
	→										
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	無料専門相談を実施した。 ・法律相談(弁護士) ・人権身の上悩みごと相談(人権擁護委員) ・税務相談(税理士) ・登記相談(司法書士) ・行政苦情相談(行政相談委員) ・交通事故相談(弁護士) ・不動産取引相談(不動産取引士) ・行政手続相談(行政書士)			無料専門相談受付総件数(136回/年) ・法律相談(50回/年) ・人権身の上悩みごと相談(12回/年) ・税務相談(12回/年) ・登記相談(12回/年) ・行政苦情相談(14回/年) ・交通事故相談(12回/年) ・不動産取引相談(12回/年) ・行政手続相談(12回/年)							
	→										
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
		目標値設定の考え方 悩みを持っている市民に、漏れなく相談の機会を与える。									
3 経費	活動指標	③の数値	件	136	136	136					
	事業費(実績)		円	1,779,278	1,830,702	1,845,825	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,779,278	1,830,702	1,845,825					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.2					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
職員人件費(再任用以外)		円	2,475,900	2,473,200	1,662,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	4,255,178	4,303,902	3,507,825						
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和47年度										
	(2) 環境の変化 高齡社会、地域コミュニティの希薄化など、地域の社会情勢を投影した相談が増加している。										

事業名称	広聴活動費 [専門相談事務]			
担当部署・課長名	秘書広報	課	市民相談担当	係 課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	一部の専門相談は、予約から相談日まで1ヶ月以上かかる場合が多かった。早期の相談を希望される場合は、関係団体の無料相談を紹介するが、会場は全て市外となり、相談者からは高齢等を理由に「市内で相談したい」と要望される事例があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑥(市報、市の公式ホームページ)		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：)⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
各種相談窓口の存在を広報するとともに、引き続き、市民にとって相談しやすい窓口や関連情報を提供できるよう努める。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記)			
	引き続き状況把握に努め、急激に相談者が増えた場合は、必要に応じ、検討していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	実施している専門相談について、実施状況を調査し、必要性や開催頻度の妥当性を検証した。また、未実施の相談分野について、他市状況を調査分析し、当市での実施の必要性を検討した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
専門相談の現在の実施内容についての見直しは不要と判断したが、数年毎に状況分析をして適正な実施に努める。				
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名：市民自治の向上				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 各相談の実施状況や項目の調査を数年毎に実施し、状況分析の基礎資料を蓄積する。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
現在の実施内容に対し、今後、相談者の増加等により枠を超過する等の課題が生じた場合は、対応を検討していく。報酬や委託費については、社会状況から見直しを要する可能性があり、その場合は予算措置が必要となる。				

<お願い>

このシートは、行政管理課でPDF形式で保存し、市のホームページに掲載しますので、以下の点について、お願いいたします。

- このファイル1つに、1つの「仕事の内容」をご記入ください。
- ファイル名は「仕事の内容」と同様とし、課名等はいれなくてください。
- 保存の際は、Excel97-2003の形式で、保存してください。
- 印刷範囲の設定をしてありますので、解除や変更をしないでください。
- 行の挿入や、行の高さなどは、適宜していただいてもかまいませんが、その際、印刷プレビューで確認し、2ページに収まるように調整してく

こちらの列は、その年の利用状況など実績を表にしておくと、事業を振り返るときに便利です。